

野村高金利国際機関債投信 (年2回決算型)

償還運用報告書(全体版)

第14期(償還日2018年7月26日)

作成対象期間(2018年5月16日～2018年7月26日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行い、償還価額が決定いたしました。
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2018年7月26日をもちまして繰上償還いたします。(設定日2011年10月18日)	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託であるノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーマザーファンド受益証券への投資を通じて、国際機関が発行する、信用力の高い、世界の国(新興国を含みます。)の通貨建ての債券を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状態においては、ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。	
主な投資対象	野村高金利国際機関債投信(年2回決算型)	ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA	国際機関が発行する、信用力の高い、世界の国(新興国を含みます。)の通貨建ての債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村マネーマザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
	野村高金利国際機関債投信(年2回決算型)	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	野村マネーマザーファンド	株式への投資は行いません。
	野村高金利国際機関債投信(年2回決算型)	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分 込 配	み 金 騰 落 率				
	円 銭	円	%	%	%	%	百万円
10期(2016年11月15日)	10,606	10	1.7	0.1	—	96.9	1
11期(2017年5月15日)	11,935	10	12.6	0.1	—	98.1	1
12期(2017年11月15日)	11,592	10	△ 2.8	0.1	—	98.7	1
13期(2018年5月15日)	11,459	10	△ 1.1	0.1	—	97.4	1
(償還時)	(償還価額)						
14期(2018年7月26日)	11,304.61	—	△ 1.3	—	—	—	1

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 投資信託証券組入比率は、「ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA」の組入比率を記載しております。

* 新興国通貨建ての国際機関債の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	率			
(期首)	円 銭		%	%	%	%
2018年5月15日	11,459	—	—	0.1	—	97.4
5月末	11,054	△3.5	—	0.1	—	97.3
6月末	10,993	△4.1	—	0.0	—	99.0
(償還時)	(償還価額)					
2018年7月26日	11,304.61	△1.3	—	—	—	—

* 騰落率は期首比です。

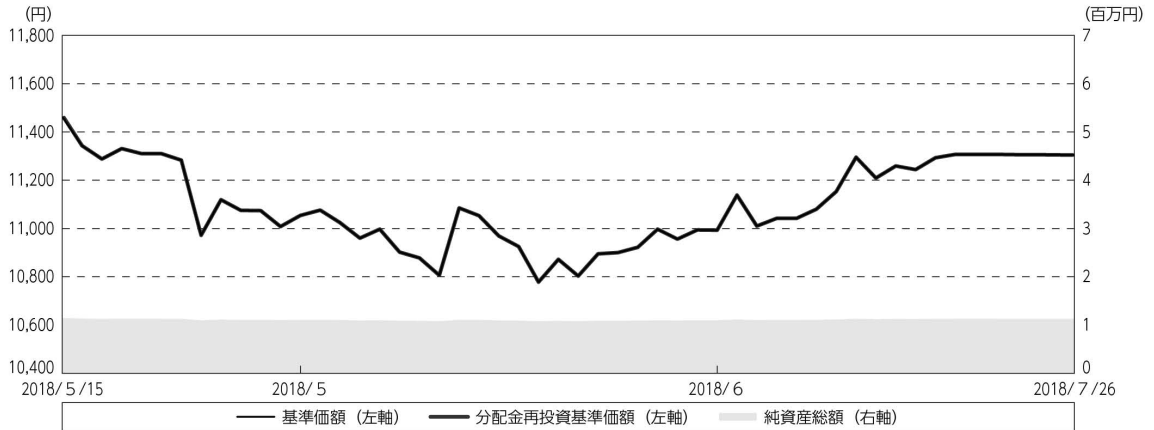
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 投資信託証券組入比率は、「ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA」の組入比率を記載しております。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首： 11,459円

期末（償還日）：11,304円61銭（既払分配金（税込み）：－円）

騰 落 率： $\Delta 1.3\%$ （分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年5月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、第14期期首の11,459円から償還時には11,304.61円となり、値下がり額は154.39円となりました。

(上昇要因)

- ・ 保有する債券からの利息収入
- ・ メキシコペソが対円で上昇したこと

(下落要因)

- ・ ブラジルリアル、トルコリラが対円で下落したこと

○投資環境

当作成期は、投資を行ったメキシコペソは対円で上昇、トルコリラおよびブラジルレアルは対円で下落しました。

ブラジルでは、歳出上限法の遵守に必要な年金改革法案の成立が断念されるなど、議会運営の停滞が浮き彫りになりました。経済の回復が依然として鈍い中で、政治の不確実性が10月の大統領選挙が近づくとつれ高まっていくことが懸念され、通貨は対円で軟調に推移しました。

トルコでは、移民問題やEU（欧州連合）加盟交渉、対ロシア関係などでEUとの対立が続いており、米国とはクーデター未遂事件の捜査に関する対立やトルコ国内の銀行のイラン制裁違反を巡る問題で関係が悪化しました。高進するインフレ率に対し、政治の介入からトルコ中央銀行が有効な金融引締策を取ることが困難であることなども懸念され、通貨は対円で軟調に推移しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村高金利国際機関債投信（年2回決算型）]

<投資信託証券等の組入比率>

[野村高金利国際機関債投信（年2回決算型）] は、当作成期を通して資金の流出入に応じて [ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA] 受益証券を売買し、概ね高位の組入れを行いました。

[ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA]

<ポートフォリオ>

組み入れ通貨の選定

金利水準やファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）等を勘案し、ブラジルレアル、トルコリラ、メキシコペソの3通貨の組み入れを当作成期中は維持しました。

通貨別配分

当作成期首には、通貨比率の順位をメキシコペソ、ブラジルレアル、トルコリラとしました。

・ブラジル

ブラジル中央銀行の堅実な金融政策運営により、インフレ率が着実に低下している点や、外国直接投資の流入が続いている点、貿易収支が長期的に改善している点などを評価し、当作成期中はブラジルレアルの比率を高位で維持しました。

・トルコ

経常収支赤字が拡大している点や、資本収支が海外からの証券投資による資金流入に依存し

ている点、経済が過熱しており早晩減速に転じるとみられる点、インフレ率が高水準で推移している点などを懸念し、当作成期中はトルコリラの比率を低位で維持しました。

・メキシコ

財政収支が改善している点、インフレ率が低下している点、恒常的な経常移転黒字により経常収支が安定している点などを評価し、当作成期中はメキシコペソの比率を高位としました。

組み入れ債券と信用格付け配分

当作成期を通して、AAA格の国際機関が発行する債券（国際機関債）を中心とした資産配分としました。またデュレーション（金利感応度）*は、2年以内を維持しました。

*デュレーション：金利がある一定の割合で変動した場合、債券・資産の価格がどの程度変化するかを示す指標です。この値が大きいほど金利変動に対する債券・資産価格の変動率が大きくなり、またこの値が小さいほど金利変動に対する債券・資産価格の変動率が小さくなります。

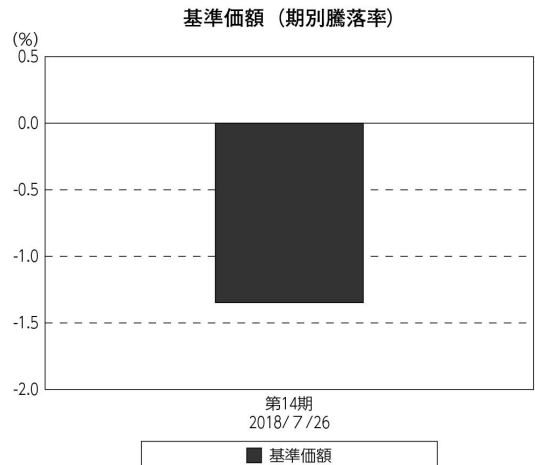
[野村マネー マザーファンド]

当作成期の運用につきましては、残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

新興国通貨建ての国際機関債の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎分配金

償還のため分配は行いませんでした。

◎設定来の運用経過



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時に11,304.61円となりました。設定来、1万口当たり計130円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は1,434.61円となりました。

（上昇要因）

- ・ 実質的に保有する債券からの金利収入。

（下落要因）

- ・ 南アフリカランド、ブラジルリアル、トルコリラなどの投資通貨が投資した期間において、対円で下落したため。

【第1期－第6期】

日本において第2次安倍内閣が発足し、日本銀行が金融緩和を実施したことで円が主要通貨に対して下落した結果、投資通貨が対円で上昇しました。

【第7期－第9期】

ウクライナ東部を巡る問題で欧米諸国とロシアとの対立が深まったことや、米国の量的金融緩和策の早期縮小観測などにより、慢性的な経常赤字や高いインフレ率など、脆弱なファンダメンタルズ（基礎的諸条件）を抱える新興国からの資金流出が加速しました。また、原油価格が下落したことも資源国通貨の下押し圧力となりました。

【第10期－第14期】

世界的に緩やかな経済成長と主要先進国の秩序だった金融政策正常化が織り込まれる中、主要新興国通貨は堅調に推移しました。このような環境下で多くの新興国が経済構造の不均衡の是正に取り組む一方、トルコでは慢性的な経常赤字、高進するインフレ率、クーデター未遂事件の発生など地政学的リスク、大衆迎合的な経済政策と過熱傾向にあった景気などが懸念され、トルコリラが対円で下落しました。

当ファンドは、2018年7月26日をもって償還となりました。設定以来のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

○1万口当たりの費用明細

（2018年5月16日～2018年7月26日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 21	% 0.187	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(6)	(0.053)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(14)	(0.128)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.006)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0.192	
期中の平均基準価額は、11,023円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2018年5月16日～2018年7月26日）

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ノムラ・カレンシー・ファンドー スープレナショナル・ボンドークラスA	口 8	千円 29	口 296	千円 1,108

* 金額は受け渡し代金。

* 金額の単位未満は切り捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村マネー マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 1	千円 2

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月16日～2018年7月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2018年5月16日～2018年7月26日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2018年7月26日現在)

2018年7月26日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末)	
	口数	口数
ノムラ・カレンシー・ファンド—スープレナショナル・ボンド—クラスA		288
合 計		288

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
野村マネー マザーファンド			千口 1

*単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年7月26日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
コール・ローン等、その他		1,132	100.0
投資信託財産総額		1,132	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2018年7月26日現在)

○損益の状況 (2018年5月16日～2018年7月26日)

項	目	償 還 時
		円
(A) 資産		1,132,598
	コール・ローン等	1,132,598
(B) 負債		2,137
	未払信託報酬	2,084
	未払利息	2
	その他未払費用	51
(C) 純資産総額(A-B)		1,130,461
	元本	1,000,000
	償還差益金	130,461
(D) 受益権総口数		1,000,000口
	1万口当たり償還価額(C/D)	11,304円61銭

(注) 期首元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は1,130,461円です。

項	目	当 期
		円
(A) 配当等収益		23,346
	受取配当金	23,360
	支払利息	△ 14
(B) 有価証券売買損益		△ 36,608
	売買損	△ 36,608
(C) 信託報酬等		△ 2,135
(D) 当期損益金(A+B+C)		△ 15,397
(E) 前期繰越損益金		145,858
	償還差益金(D+E)	130,461

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年10月18日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年7月26日			資産総額	1,132,598円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	2,137円	
				純資産総額	1,130,461円	
受益権口数	1,000,000口	1,000,000口	一口	受益権口数	1,000,000口	
元本額	1,000,000円	1,000,000円	一元	1万口当たり償還金	11,304円61銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	1,000,000円	1,045,488円	10,455円	10円	0.1%	
第2期	1,000,000	1,039,647	10,396	10	0.1	
第3期	1,000,000	1,330,784	13,308	10	0.1	
第4期	1,000,000	1,158,508	11,585	10	0.1	
第5期	1,000,000	1,235,305	12,353	10	0.1	
第6期	1,000,000	1,303,558	13,036	10	0.1	
第7期	1,000,000	1,212,412	12,124	10	0.1	
第8期	1,000,000	1,106,154	11,062	10	0.1	
第9期	1,000,000	1,043,803	10,438	10	0.1	
第10期	1,000,000	1,060,557	10,606	10	0.1	
第11期	1,000,000	1,193,539	11,935	10	0.1	
第12期	1,000,000	1,159,198	11,592	10	0.1	
第13期	1,000,000	1,145,858	11,459	10	0.1	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	11,304円61銭
----------------	------------

○お知らせ

該当事項はございません。